

# 令和6年度事業計画

公益財団法人 糸賀一雄記念財団

## 1 基本方針

今日、我が国は経済的な発展により物質的には豊かになったものの、未だ様々な「不均衡」があふれており、「生きる意味のない命」があるかのように人を分断する事件やコロナ禍での不当な差別事象も起こっている。しかし、一人ひとりの存在そのものは、等しく光り輝いている個性であり、その輝き、すなわち「尊厳」を認め合う共生社会の実現が急務である。

糸賀一雄氏の思想は、あらゆる人の尊厳を等しく尊重するという、障害の有無、年齢、性別、国籍等を問わない普遍的思想であり、今こそ国内外や未来に発信すべき指針（道しるべ）である。

当財団では、この思想を受け継ぎ、次の時代へ確実に伝え、今の時代に求められる福祉の「人づくり・意識づくり」を進めるため、「糸賀一雄記念賞」および県から受託の「共生社会づくりリーダー等養成事業」や国から受託の「共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業」などを実施し、障害者をはじめとする生きづらさがある人やその家族が生涯にわたり安心して生活できる共生社会の実現を目指す。

また、「公益財団法人糸賀一雄記念財団第二次中期経営計画」の着実な推進に努めるとともに、組織をあげて賛助会員を増やす活動を強化推進するなどして、当財団の自主的・主体的な運営の確立および持続的な経営の安定を目指す。

## 2 事業計画

### (1) 啓発事業

- ア 福祉分野以外（企業、教育、まちづくり、男女共同参画など）との連携強化に向けた協議調整
- イ ブックレット「ほほえむちから」を使った「語り部」による啓発活動の実施

### (2) 表彰事業

- ア 令和6年度糸賀一雄記念賞および同未来賞の候補者および団体の募集ならびに選考委員会の開催
- イ 令和6年度糸賀一雄記念賞および同未来賞の授賞式の開催

### (3) 共生社会づくりリーダー等養成事業

- ア 地域社会のあらゆる分野で共生社会づくりを推進するリーダーの養成に向けた研修等の開催
- イ 糸賀一雄氏ら先人の関連資料の展示・収集

### (4) 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業

障害福祉従事者、事業経営者等が改めて共生社会の基本理念等を学び、それを実践につなげていくことを目的とした共生社会フォーラム研修事業を当財団が受託し実施する。併せて、本事業の実施を通じて、共生社会の基本理念を福祉現場や地域で語り広めることができる「語り部」を確保・育成する。

### (5) 関連事業

- 糸賀一雄記念賞第二十三回音楽祭の実行委員会への参加

### (6) 広報事業

- 財団広報誌の発行やホームページの運営

### (7) 財政基盤の強化

- 賛助会員の拡大を図るとともに、ブックレット「ほほえむちから」の頒布により自主財源の確保に努める。

# 収 支 予 算 書

自 令和 6 年 4 月 1 日  
至 令和 7 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1,000	1,000	—	
受取会費	292,000	405,000	△ 113,000	
事業収益	8,535,000	10,768,000	△ 2,233,000	
受取補助金等	8,759,000	8,759,000	—	
受取寄付金	3,000,000	3,000,000	—	
経常収益計	20,587,000	22,933,000	△ 2,346,000	
(2) 経常費用				
事業費	15,829,000	18,115,000	△ 2,286,000	
管理費	4,758,000	4,818,000	△ 60,000	
経常費用計	20,587,000	22,933,000	△ 2,346,000	
(うち人件費)	8,395,000	8,350,000	45,000	
評価損益等調整前当期 経常増減額	—	—	—	
評価損益等計	—	—	—	
当期経常増減額	—	—	—	
当期一般正味財産増減 額	—	—	—	
一般正味財産期首残高	88,773	△ 42,687	131,460	
一般正味財産期末残高	88,773	△ 42,687	131,460	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
受取会費	1,160,000	1,249,000	△ 89,000	
一般正味財産への振替額	△ 3,292,000	△ 3,405,000	113,000	
当期指定正味財産増減 額	△ 2,132,000	△ 2,156,000	24,000	
指定正味財産期首残高	49,484,110	50,639,110	△ 1,155,000	
指定正味財産期末残高	47,352,110	48,483,110	△ 1,131,000	
<b>III 正味財産期末残高</b>	47,440,883	48,440,423	△ 999,540	

# 収 支 予 算 書 内 訳 表

自 令和 6 年 4 月 1 日  
至 令和 7 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	1,000	-	-	-	1,000
受取会費	205,000	-	87,000	-	292,000
事業収益	8,535,000	-	-	-	8,535,000
受取補助金等	4,988,000	-	3,771,000	-	8,759,000
受取寄付金	2,100,000	-	900,000	-	3,000,000
経常収益計	15,829,000	-	4,758,000	-	20,587,000
(2) 経常費用					
事業費	15,829,000	-	-	-	15,829,000
管理費	-	-	4,758,000	-	4,758,000
経常費用計	15,829,000	-	4,758,000	-	20,587,000
(うち人件費)	5,855,000	-	2,540,000	-	8,395,000
評価損益等調整前当期 経常増減額	-	-	-	-	-
評価損益等計	-	-	-	-	-
当期経常増減額	-	-	-	-	-
当期一般正味財産増減 額	-	-	-	-	-
一般正味財産期首残高	△ 111,227	-	200,000	-	88,773
一般正味財産期末残高	△ 111,227	-	200,000	-	88,773
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
受取会費	812,000	-	348,000	-	1,160,000
一般正味財産への振替額	△ 2,305,000	-	△ 987,000	-	△ 3,292,000
当期指定正味財産増減 額	△ 1,493,000	-	△ 639,000	-	△ 2,132,000
指定正味財産期首残高	34,638,377	-	14,845,733	-	49,484,110
指定正味財産期末残高	33,145,377	-	14,206,733	-	47,352,110
<b>III 正味財産期末残高</b>	33,034,150	-	14,406,733	-	47,440,883

# 資金調達および設備投資の見込みについて

自 令和 6 年 4 月 1 日  
至 令和 7 年 3 月 31 日

## 1 資金調達の見込みについて

なし

## 2 設備投資の見込みについて

なし

# 令和5年度事業報告

公益財団法人 糸賀一雄記念財団

今後の福祉の発展と人づくり、意識づくりを図り、障害者など生きづらさがある人やその家族が生涯にわたって安心して生活できる福祉社会の実現に寄与し、地域社会のあらゆる分野で共生社会づくりの機運を高めるため、糸賀一雄氏ら先人の福祉の実践と思想の普及啓発や、糸賀一雄記念賞および同未来賞の表彰事業、共生社会づくりリーダー等養成事業、共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業などを実施した。

## 1 事業実績

### (1) 啓発事業

ブックレット「ほほえむちから」や糸賀一雄紹介パンフレットを活用し、糸賀氏の思想の普及啓発に努めた。

### (2) 表彰事業

ア 糸賀一雄記念賞および同未来賞の候補者および候補団体の募集

令和5年5月29日から令和5年7月31日までを募集期間とし、候補者および候補団体の募集を行った。

イ 選考委員会の開催

令和5年9月7日（木）A P東京八重洲会議室にて選考委員会を開催し、次の受賞者を選考した。

(ア) 記念賞 山上徹二郎氏（東京都中野区：株式会社シグロ 代表取締役）

(イ) 記念未来賞 じゅんちゃん一座（青森県十和田市：座長 竹内淳子）

特定非営利活動法人 東京レインボープライド

（東京都新宿区：共同代表理事 杉山文野・山田なつみ）

ウ 授賞式の開催

(ア) 日時 令和5年11月18日（土）

(イ) 場所 ホテルニューオウミ あづちの間

(ウ) 内容 表彰式、受賞者記念スピーチ

### (3) 共生社会づくりリーダー等養成事業

滋賀県との共生社会づくりリーダー等養成事業委託契約に基づき、あらゆる人が持つ尊厳の大切さを語る糸賀思想を原点とする福祉の心を広めるリーダー等の養成や、県立長寿社会福祉センター内の展示スペースにパネル展示等を行うなど、糸賀一雄氏らの実践と思想の発信、啓発を図った。

### (4) 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業

「津久井やまゆり園」で起きた殺傷事件を風化させることなく、命の重さと共生社会に関する基本理念を多くの国民に浸透させるため、厚生労働省から受託し、一般の方を対象としたプログラムと福祉の現場や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修を組み合わせた共生社会フォーラムを3会場（埼玉・高知・沖縄）で開催するとともに、沖縄ではこれまでの研修受講者等の実践報告・交流会を併せて開催した。

# 正味財産増減計算書

自 令和 5 年 4 月 1 日  
至 令和 6 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	898	894	4
特定資産運用益	—	—	—
受取会費	281,000	509,000	△ 228,000
事業収益	7,786,057	9,719,585	△ 1,933,528
受取補助金等	8,759,000	8,759,000	—
受取寄付金	2,300,000	1,840,000	460,000
雑収益	29	26	3
経常収益計	19,126,984	20,828,505	△ 1,701,521
(2) 経常費用			
事業費	14,473,542	16,531,069	△ 2,057,527
管理費	4,708,550	4,461,976	246,574
経常費用計	19,182,092	20,993,045	△ 1,810,953
(うち人件費)	8,351,526	8,465,350	△ 113,824
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 55,108	△ 164,540	109,432
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	△ 55,108	△ 164,540	109,432
当期一般正味財産増減額	△ 55,108	△ 164,540	109,432
一般正味財産期首残高	88,773	253,313	△ 164,540
一般正味財産期末残高	33,665	88,773	△ 55,108
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取会費	981,000	1,079,000	△ 98,000
受取寄付金	500,000	1,000,000	△ 500,000
一般正味財産への振替額	△ 2,581,000	△ 2,349,000	△ 232,000
当期指定正味財産増減額	△ 1,100,000	△ 270,000	△ 830,000
指定正味財産期首残高	50,709,110	50,979,110	△ 270,000
指定正味財産期末残高	49,609,110	50,709,110	△ 1,100,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	49,642,775	50,797,883	△ 1,155,108

# 正味財産増減計算書内訳表

自 令和 5 年 4 月 1 日  
至 令和 6 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	629	—	269	—	898
特定資産運用益	—	—	—	—	—
受取会費	196,700	—	84,300	—	281,000
事業収益	7,786,057	—	—	—	7,786,057
受取補助金等	4,625,048	—	4,133,952	—	8,759,000
受取寄付金	1,610,000	—	690,000	—	2,300,000
雑収益	—	—	29	—	29
経常収益計	14,218,434	—	4,908,550	—	19,126,984
(2) 経常費用					
事業費	14,473,542	—	—	—	14,473,542
管理費	—	—	4,708,550	—	4,708,550
経常費用計	14,473,542	—	4,708,550	—	19,182,092
(うち人件費)	5,817,787	—	2,533,739	—	8,351,526
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 255,108	—	200,000	—	△ 55,108
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△ 255,108	—	200,000	—	△ 55,108
当期一般正味財産増減額	△ 255,108	—	200,000	—	△ 55,108
一般正味財産期首残高	△ 111,227	—	200,000	—	88,773
一般正味財産期末残高	△ 366,335	—	400,000	—	33,665
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
受取会費	686,700	—	294,300	—	981,000
受取寄付金	350,000	—	150,000	—	500,000
一般正味財産への振替額	△1,806,700	—	△ 774,300	—	△2,581,000
当期指定正味財産増減額	△ 770,000	—	△ 330,000	—	△1,100,000
指定正味財産期首残高	35,496,377	—	15,212,733	—	50,709,110
指定正味財産期末残高	34,726,377	—	14,882,733	—	49,609,110
<b>III 正味財産期末残高</b>	34,360,042	—	15,282,733	—	49,642,775

# 貸 借 対 照 表

令和 6 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 資 産 の 部</b>			
1 流 動 資 産			
現 金 預 金	2,471,949	2,323,772	148,177
未 収 金	7,015,772	11,584,848	△ 4,569,076
流 動 資 産 合 計	9,487,721	13,908,620	△ 4,420,899
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定 期 預 金	49,573,110	50,673,110	△ 1,100,000
基 本 財 産 合 計	49,573,110	50,673,110	△ 1,100,000
(2) その他固定資産			
電 話 加 入 権	36,000	36,000	-
その他固定資産合計	36,000	36,000	-
固 定 資 産 合 計	49,609,110	50,709,110	△ 1,100,000
資 産 合 計	59,096,831	64,617,730	△ 5,520,899
<b>II 負 債 の 部</b>			
1 流 動 負 債			
短 期 借 入 金	7,500,000	10,000,000	△ 2,500,000
未 払 金	1,825,324	3,795,242	△ 1,969,918
預 り 金	128,732	24,605	104,127
流 動 負 債 合 計	9,454,056	13,819,847	△ 4,365,791
負 債 合 計	9,454,056	13,819,847	△ 4,365,791
<b>III 正 味 財 産 の 部</b>			
1 指 定 正 味 財 産			
賛 助 会 費	3,610,000	2,910,000	700,000
寄 付 金	45,963,110	47,763,110	△ 1,800,000
電 話 加 入 権	36,000	36,000	-
指 定 正 味 財 産 合 計	49,609,110	50,709,110	△ 1,100,000
(うち基本財産への充当額)	(49,573,110)	(50,673,110)	(△ 1,100,000)
(うち特定資産への充当額)	(-)	(-)	(-)
2 一 般 正 味 財 産	33,665	88,773	△ 55,108
正 味 財 産 合 計	49,642,775	50,797,883	△ 1,155,108
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	59,096,831	64,617,730	△ 5,520,899